

# 関東・東北豪雨で被災した常総市の 危機管理監と意見交換等を行いました！

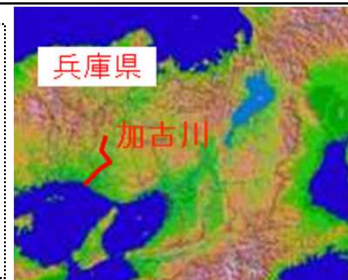
～第4回『加古川減災対策協議会』を開催～ 姫路河川国道事務所

本協議会は加古川において、堤防決壊等に伴う大規模浸水被害に備え、沿川市、河川管理者である国、兵庫県等が連携・協力して、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進することにより、加古川において氾濫が発生することを前提として**社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を継承・再構築すること**を目的としています。

第4回協議会では、常総市 防災危機管理課 危機管理監による「平成27年9月関東・東北豪雨災害の教訓とその後の取組事項」を講演いただき、意見交換を実施しました。また、平成29年度の各機関の取組内容を共有しました。

## 概要

- 日 時：平成30年 5月16日（水）10:00～12:00
- 場 所：小野市うらおい交流館エクラ
- 参加者：加古川市長、高砂市長、小野市長、加東市長、  
加古川土木事務所長、加東土木事務所長、神戸地方気象台長、  
姫路河川国道事務所長、常総市防災危機管理課危機管理監



## 講演概要

- 【講演内容】
- ・平成27年9月の鬼怒川の大水害時における常総市の被害状況と水害対応・課題について
  - ・鬼怒川の水害時の被害状況や水害対応の教訓を踏まえた、常総市における大水害に対するハード及びソフトの取組みについて

### 【常総市危機管理監との意見交換】

- Q 大規模洪水時の避難所の開設・運営をどうすればよいか。  
A 職務にこだわらず、学校職員や自主防災組織等に手伝ってもらうことが望ましい。  
Q 災害情報伝達手段等の高度化を進める中で、住民向けの情報伝達で改善したことは何か。  
A スマートフォンのアプリ等。平常時から住民の防災意識を高めるのに役立つ。  
Q 最大規模洪水を対象とした洪水ハザードマップ等のリスク情報を公表をするにあたり、住民等から反対等があると思うが、このようなリスク情報をどう扱っているか。  
A 住民等からの反対・賛成の色々な意見がある。行政としては、現実起こったという事実も示す必要がある。各々の立場でリスクを知り、適切な説明をした上で、互いの理解に努める。



常総市防災危機管理監による講演

## 各機関の取組

- 加東市：市長まちづくりタウンミーティングの開催／避難所開設訓練、避難所名簿の作成やダンボールベッドの組み立て・レスキューキッチンによる炊き出し
- 小野市：安全安心パトロール隊との連携／避難行動要支援者名簿取扱マニュアルの作成と全自治会への配布  
小野市全域防災訓練(緊急速報メール配信訓練)
- 加古川市：災害情報伝達システムの構築(V-ALERTを活用した情報入力システム、スマートフォンアプリ等)
- 高砂市：地域の防災力強化に向けた取組み(防災マップ・地区別避難計画の作製)／市独自のタイムラインの導入
- 県：防災情報活用研修・総合治水出前講座／CGハザードマップの公表・周知／河川監視カメラの設置と川の情報提供／ホットラインの構築・避難勧告の支援
- 国：氾濫箇所予測システムの構築／水防資機材共有資料の作成／洪水ハザードマップ(L2洪水)の検討



常総市防災危機管理監との意見交換

### 【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局  
姫路河川国道事務所 調査課  
〒670-0947  
姫路市北条1-250  
TEL 079-282-8211

